

# 株式会社 トリケミカル研究所

## 第42期(2020年1月期)

### 決算説明資料

東京証券取引所

証券コード:4369

# 1. 2020年1月期業績

## 2020年1月期連結業績の概要

単位：百万円

	(ご参考) 19.1期	20.1期	増減額	増減率
売上高	7,792	8,267	475	6.1%
営業利益	2,153	2,326	173	8.1%
経常利益	2,931	3,744	812	27.7%
当期純利益	2,267	2,939	672	29.7%

！売上は期初計画未達も6期連続で過去最高を更新  
 （各利益は5期連続で過去最高）  
 ！経常利益に持分法投資利益1,324百万円

## 連結貸借対照表

単位:百万円

	20.1期末	(ご参考) 19.1期末	増減額
流動資産	6,147	5,437	709
固定資産	8,997	5,657	3,339
資産合計	15,144	11,094	4,049
流動負債	3,050	2,568	481
固定負債	2,512	1,500	1,011
負債合計	5,562	4,069	1,493
株主資本	9,656	7,068	2,588
その他包括利益累計額	-74	-42	-31
純資産合計	9,581	7,025	2,556
負債純資産合計	15,144	11,094	4,049

### 主な増減要因

流動資産	売上債権の増加	+204	流動負債	未払金の増加	+466
	たな卸資産の増加	+292			
固定資産	設備投資に伴う有形固定資産の増加	+1,972	固定負債	長期借入金 of 増加	+345
	持分法利益取り込みに伴う投資有価証券増加	+1,266		リース債務の増加	+608
			純資産	純利益計上による利益剰余金の増加	+2,588

## 財政状態の概要(キャッシュ・フロー)

単位:百万円

	20.1期
営業活動による キャッシュ・フロー	1,809
投資活動による キャッシュ・フロー	-1,564
財務活動による キャッシュ・フロー	-226
現金及び現金同等物の 増減額	22
現金及び現金同等物の 期末残高	1,618

### CFの状況

#### 営業CF

税前純利益計上	+3,744
減価償却費計上	+642
持分法による投資損益	-1,324
法人税等の支払額	-688
売上債権の増加	-204
たな卸資産の増加	-291

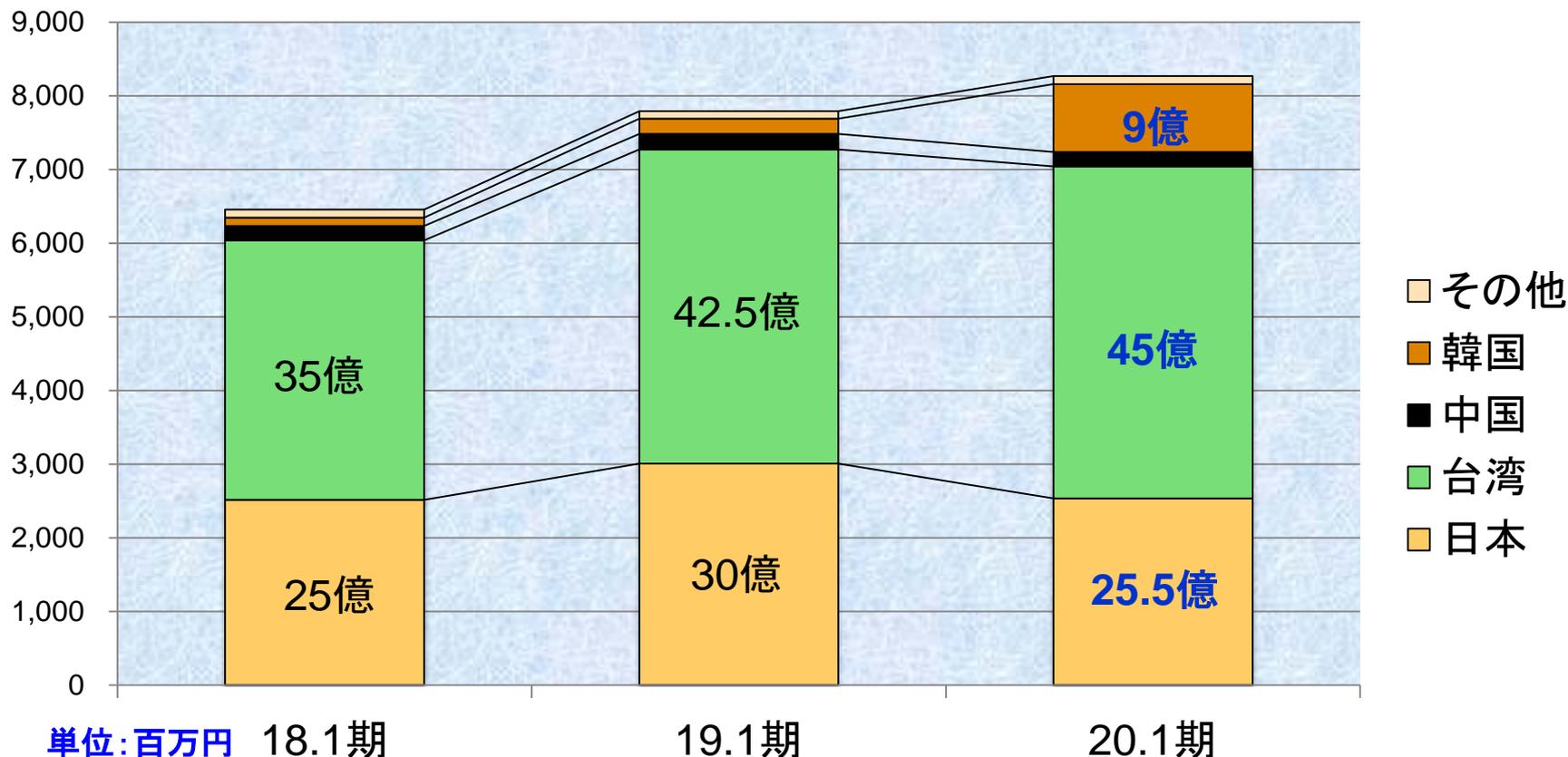
#### 投資CF

有形固定資産の取得	-1,405
無形固定資産の取得	-158

#### 財務CF

借入金調達・返済	+198
リース債務の返済	-74
配当金の支払額	-349

## 売上分析(ユーザー地域別)

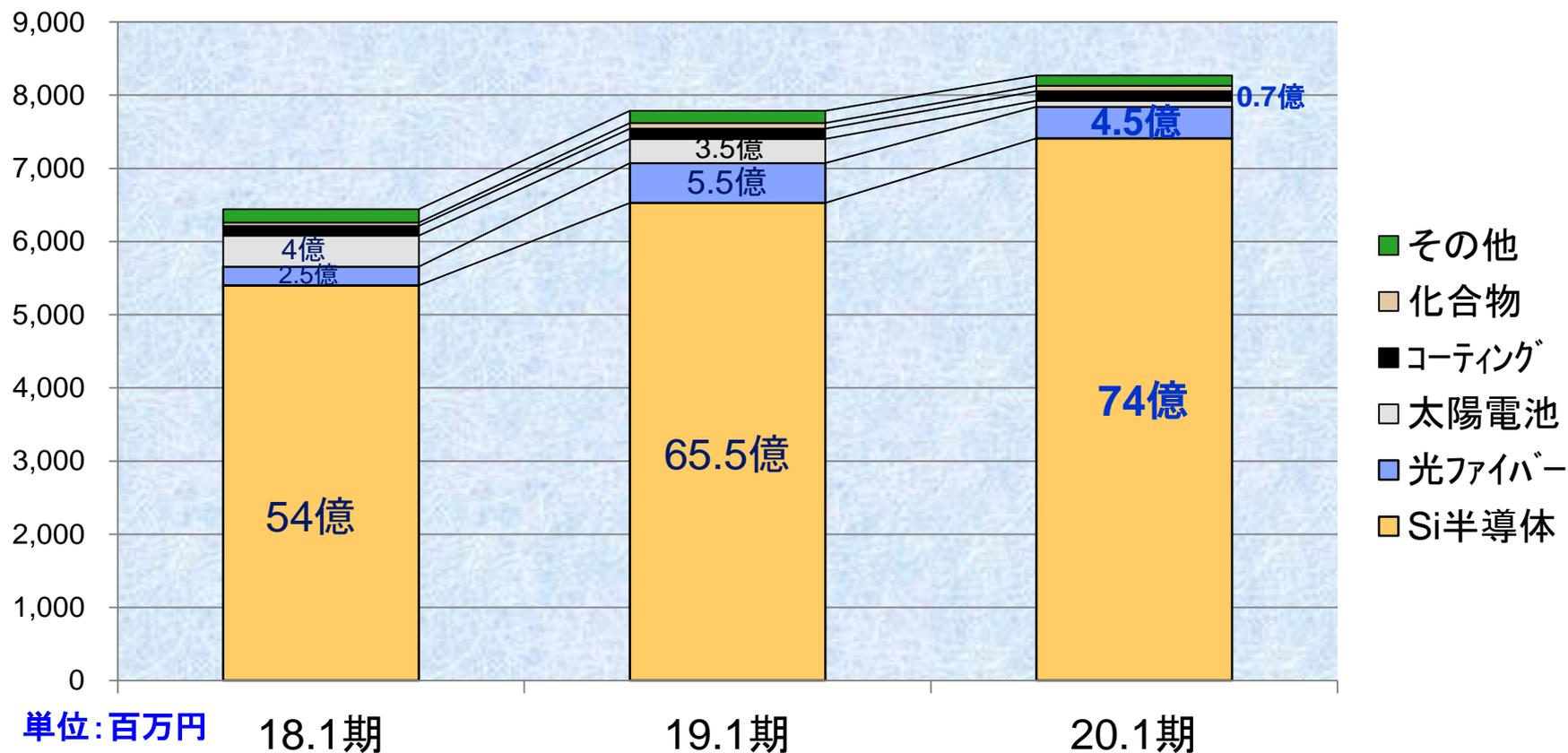


単位:百万円 18.1期  
※当社推定による概算値

**！台湾・韓国向け需要の成長**

※18.1期は単体での数字となっているため、比較はあくまでご参考となります。

## 売上分析(製品用途別)



単位:百万円

18.1期

19.1期

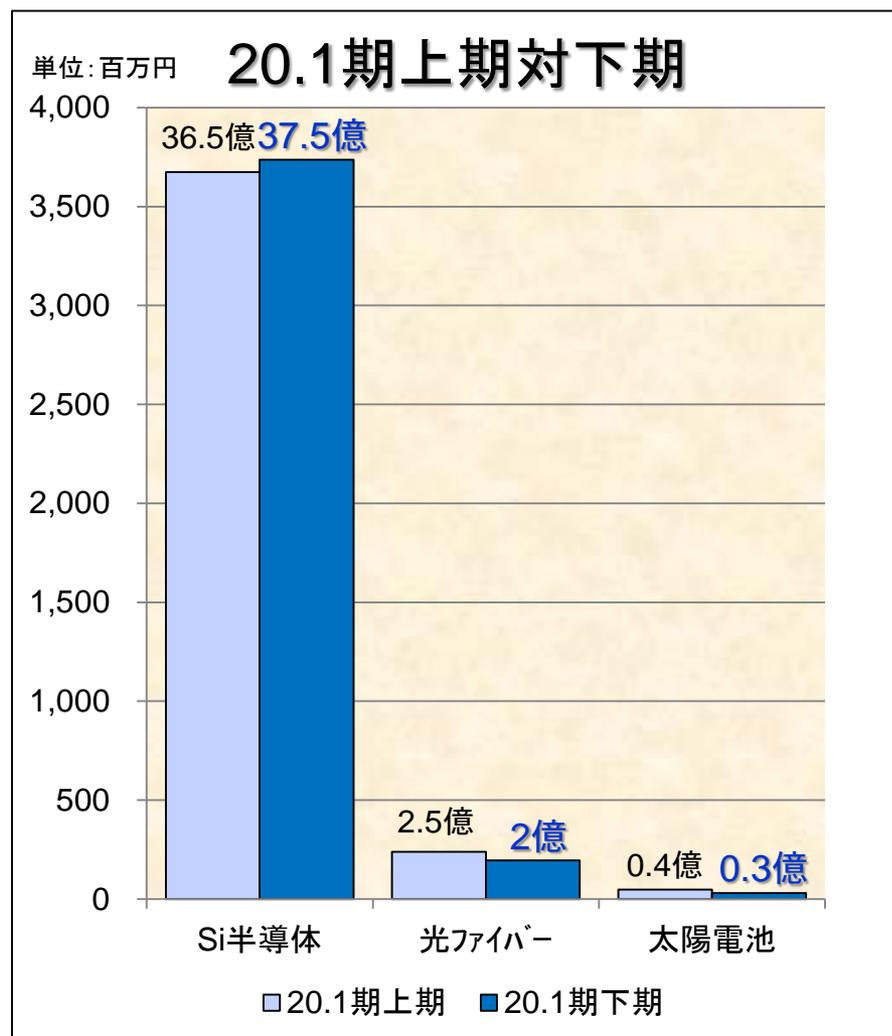
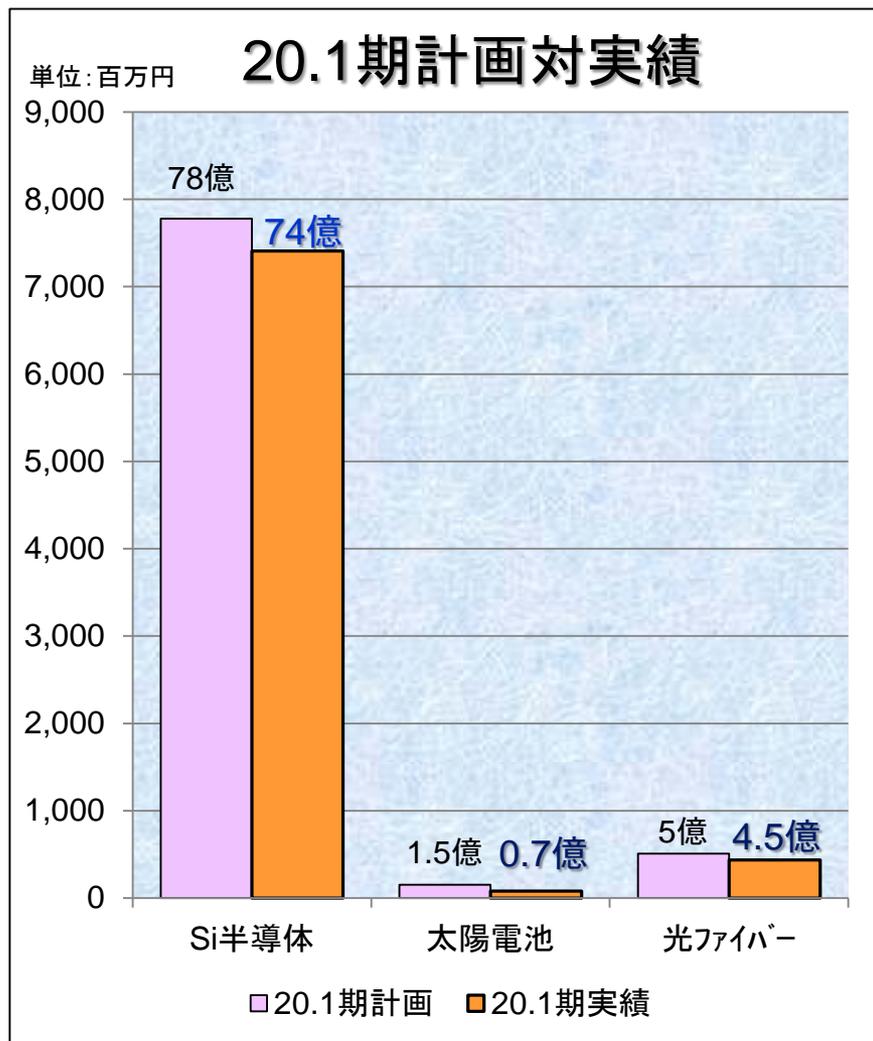
20.1期

※当社推定による概算値

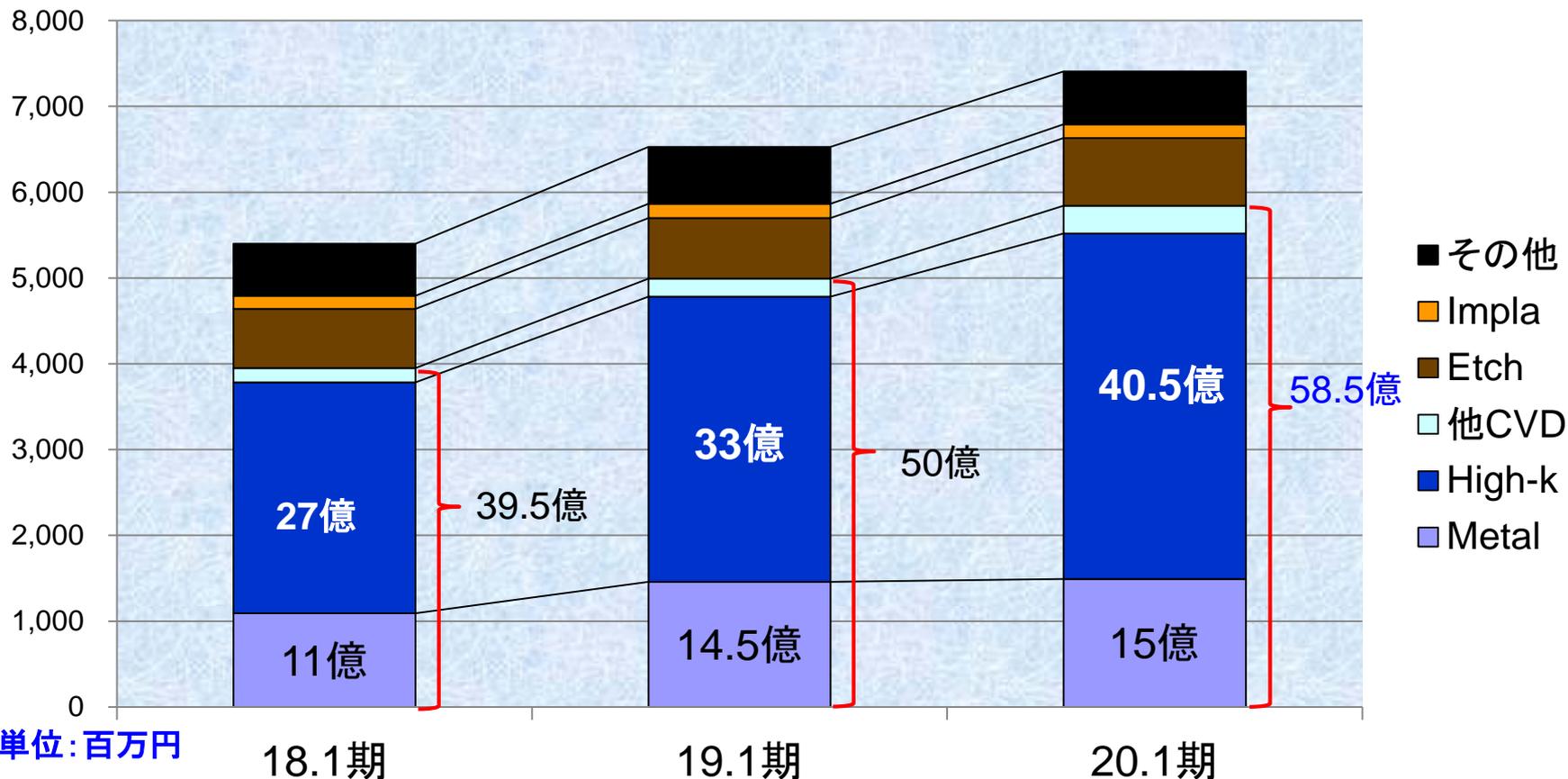
**！ Si半導体向け材料が好調・太陽電池向けは大幅減**

※18.1期は単体での数字となっているため、比較はあくまでご参考となります。

## 売上分析(主要製品用途別の対計画比・半期毎推移)



## 売上分析(Si半導体)

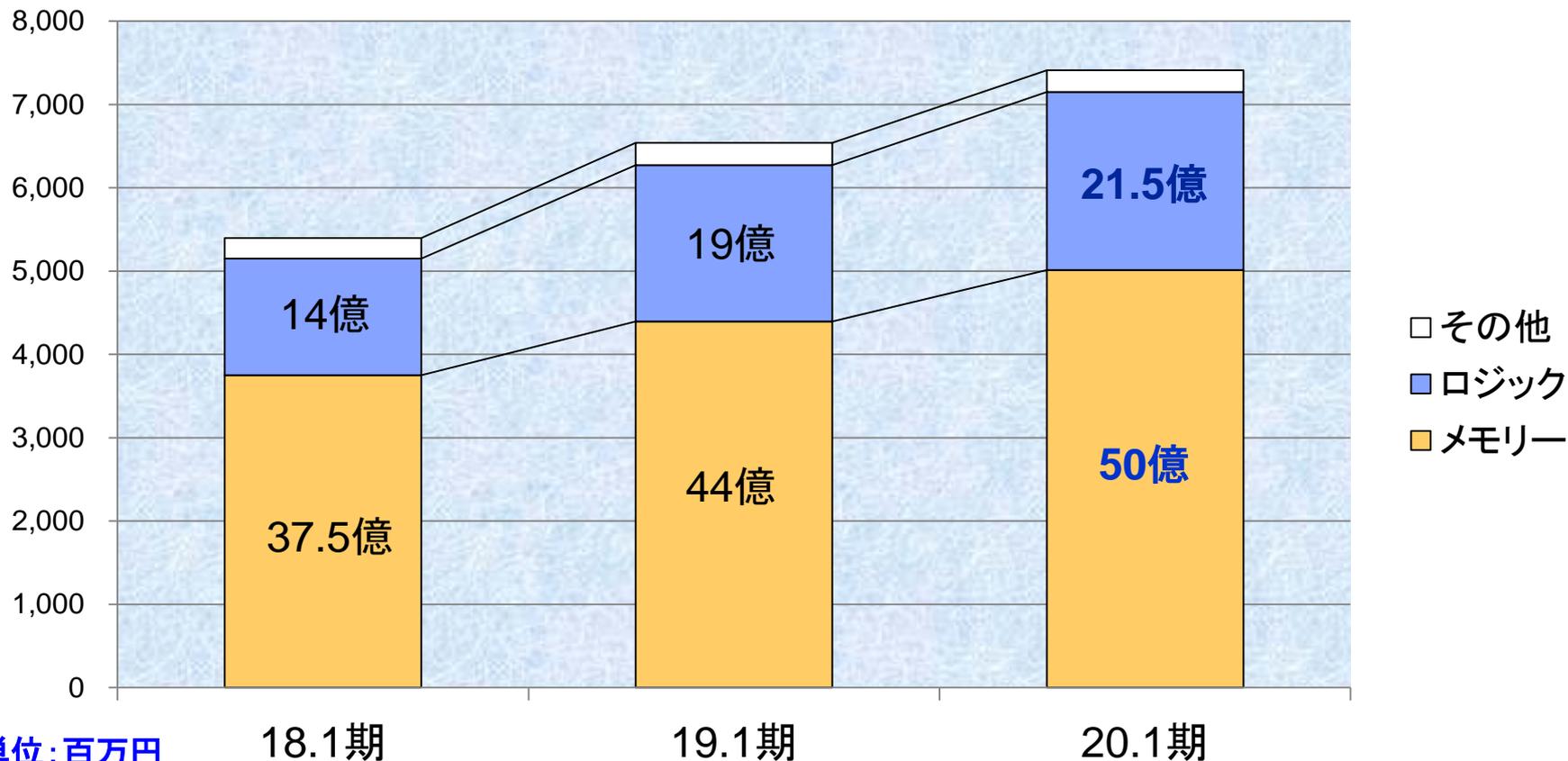


※当社推定による概算値

**！ 先端半導体向け材料中心に堅調に推移**

※18.1期は単体での数字となっているため、比較はあくまでご参考となります。

## 売上分析(半導体向け先別)



単位:百万円

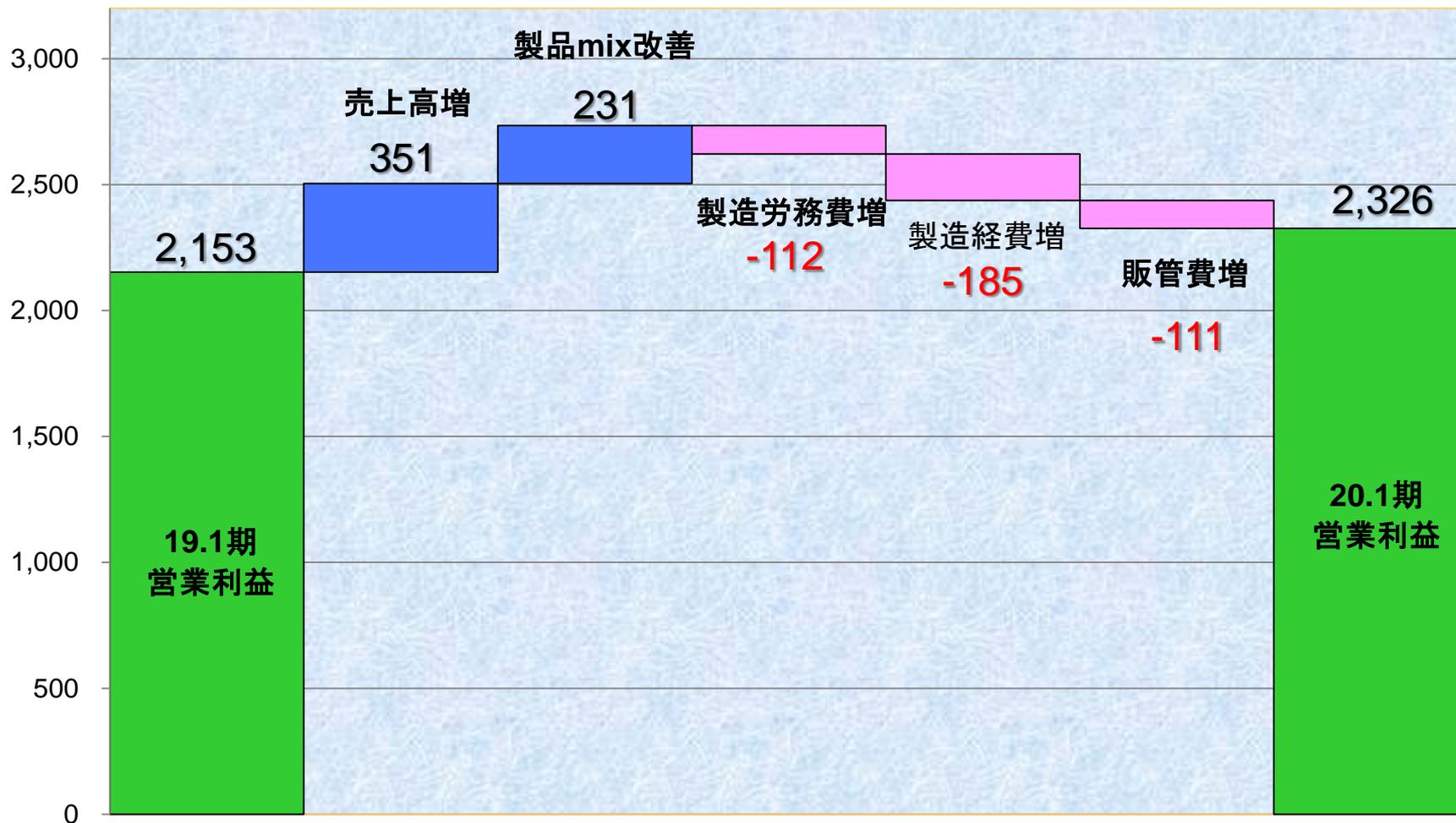
※当社推定による概算値

**！メモリー・ロジック共に売上増**

※18.1期は単体での数字となっているため、比較はあくまでご参考となります。

## 2020年1月期営業利益増減要因

単位：百万円



※研究開発費振替前

## 2. 2021年1月期業績計画

## 2021年1月期 通期戦略

### 外部環境

- ▶ 半導体市場は昨年並みの稼働を維持と仮定
- ▶ 顕在化している以上のコロナウィルスの影響は見込んでいない

### 今期の取り組み・施策

#### 1. 売上高増加に向けての取り組み

- ▶ 韓国市場への販売をさらに拡大
- ▶ 材料の販売拡充・新材料の市場投入を継続

#### 2. 中長期的成長に向けての社内体制構築

- ▶ 台湾子会社における生産・経営体制の早期構築
- ▶ 第二工場を中心とした生産体制の強化を継続
- ▶ 新棟建設による品質管理体制の中長期的な強化

## 2021年1月期連結業績予想

単位:百万円

	20.1期実績	21.1期計画	(ご参考) 増減率
売上高	8,267	9,150	10.7%
営業利益	2,326	2,370	1.9%
経常利益	3,744	3,770	0.7%
当期純利益	2,939	2,940	0.0%

為替は107円/米ドルに設定 (21.1期営業利益感応度は1円≒2,800万円)

！売上高は大幅増の見込み

！子会社新工場等、費用先行により利益は横ばい

## 業績の推移 (半期毎)

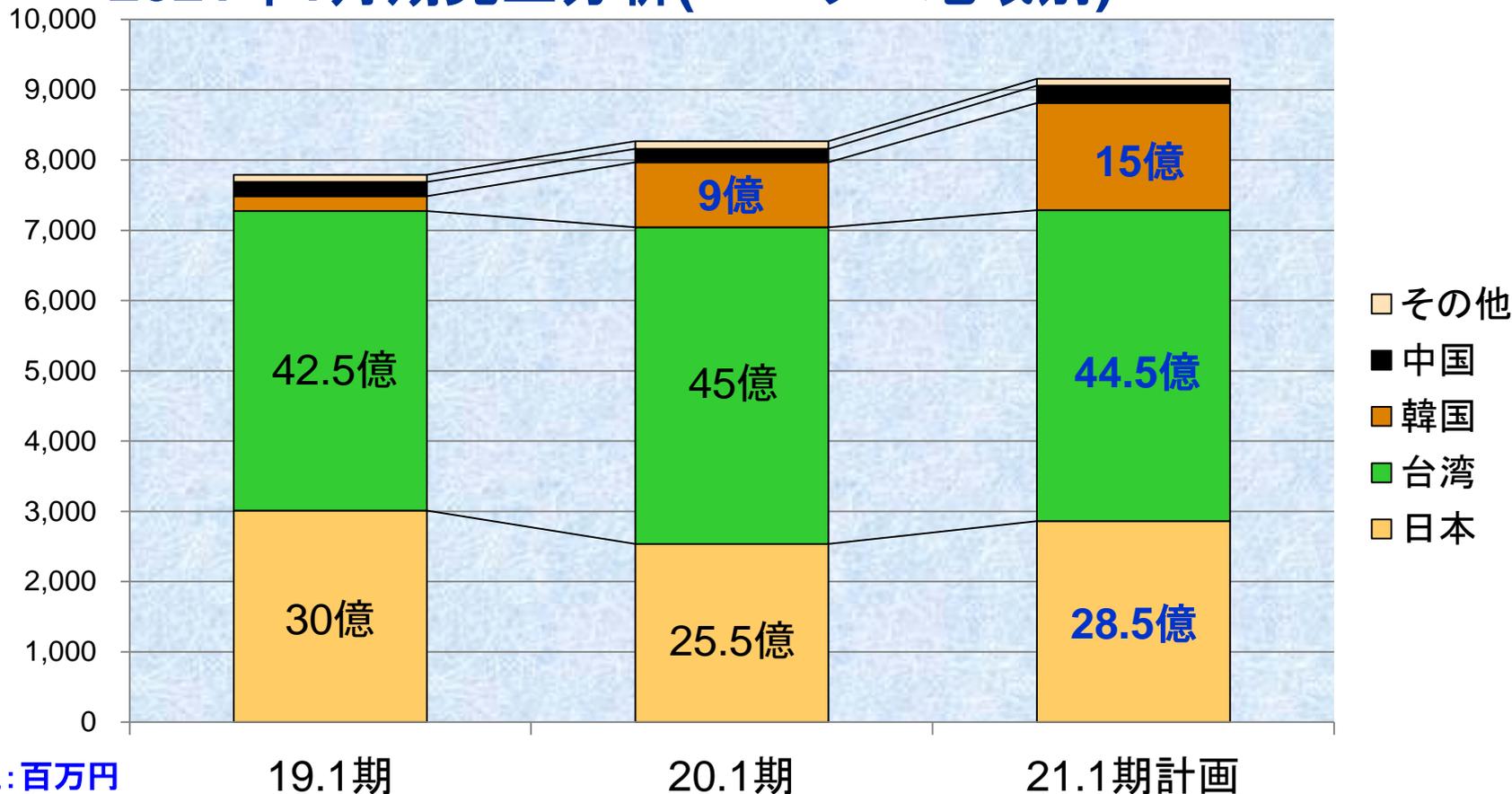
単位: 百万円



**! 21.1期下期は償却費等が先行する見込み**

※18.1期は単体での数字となっているため、比較はあくまでご参考となります。

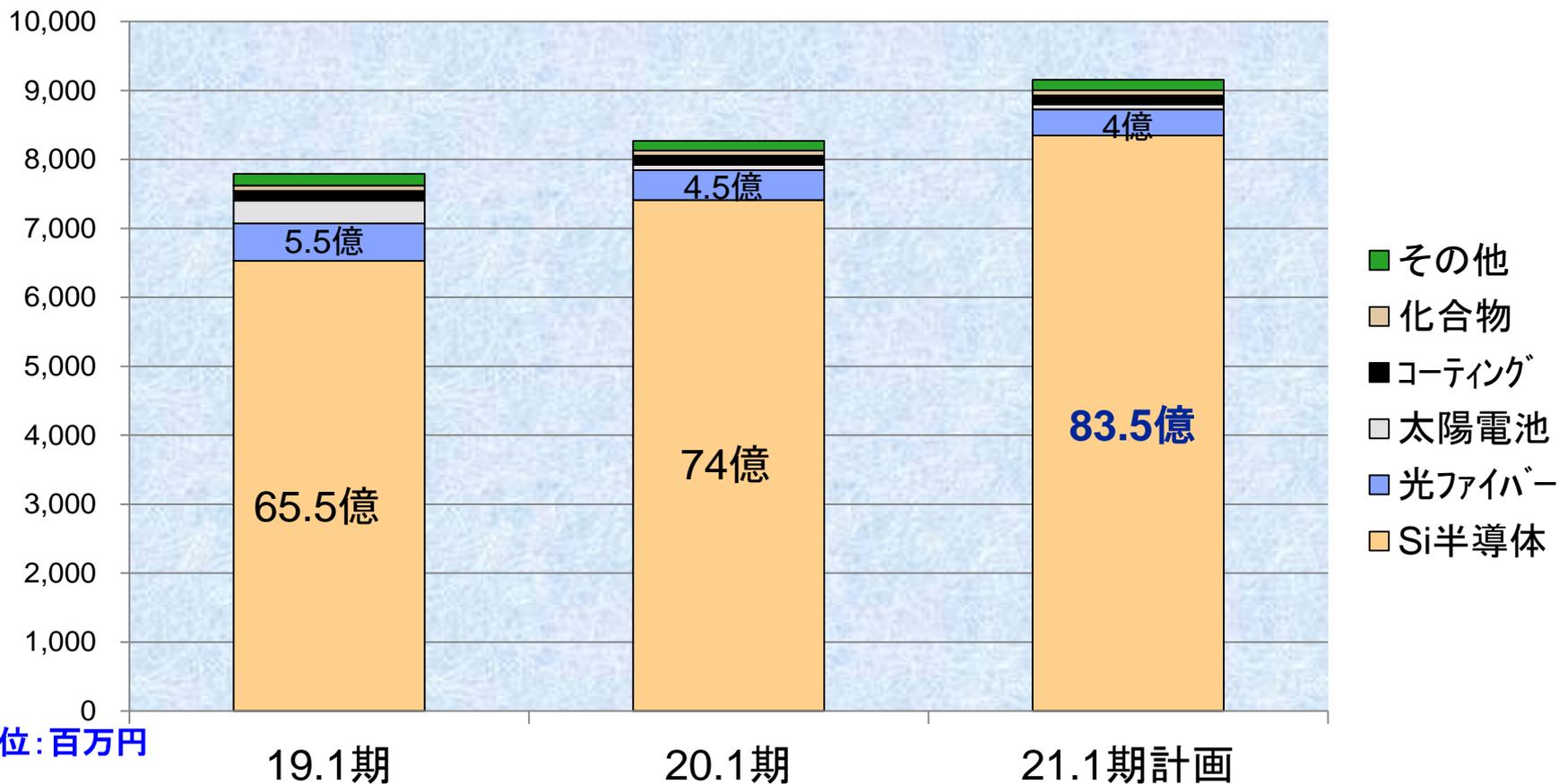
## 2021年1月期売上分析(ユーザー地域別)



※当社推定による概算値

**！今期成長した韓国向け売上のさらなる拡大を目指す**

## 2021年1月期売上分析(製品用途別)

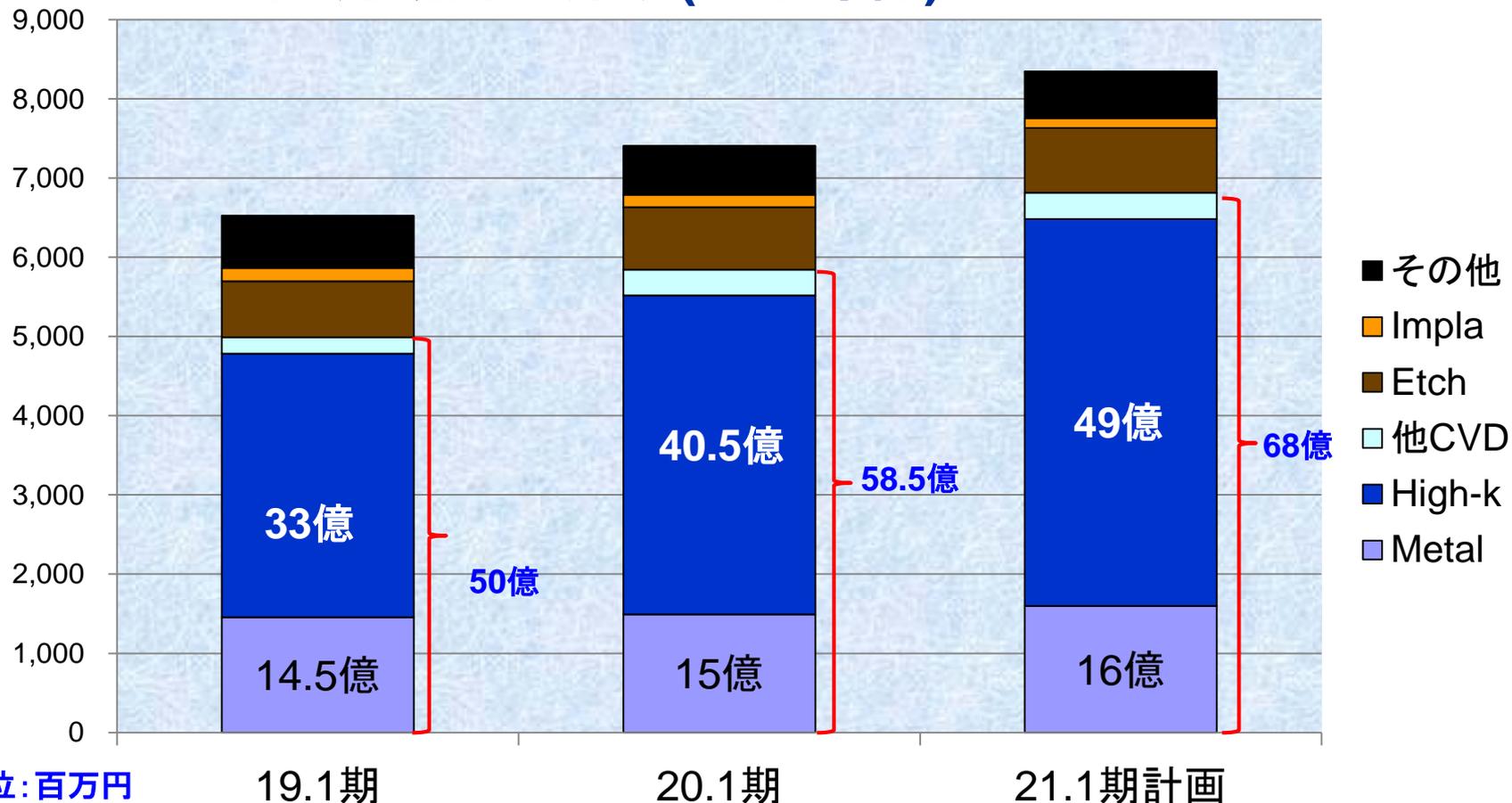


単位:百万円

※当社推定による概算値

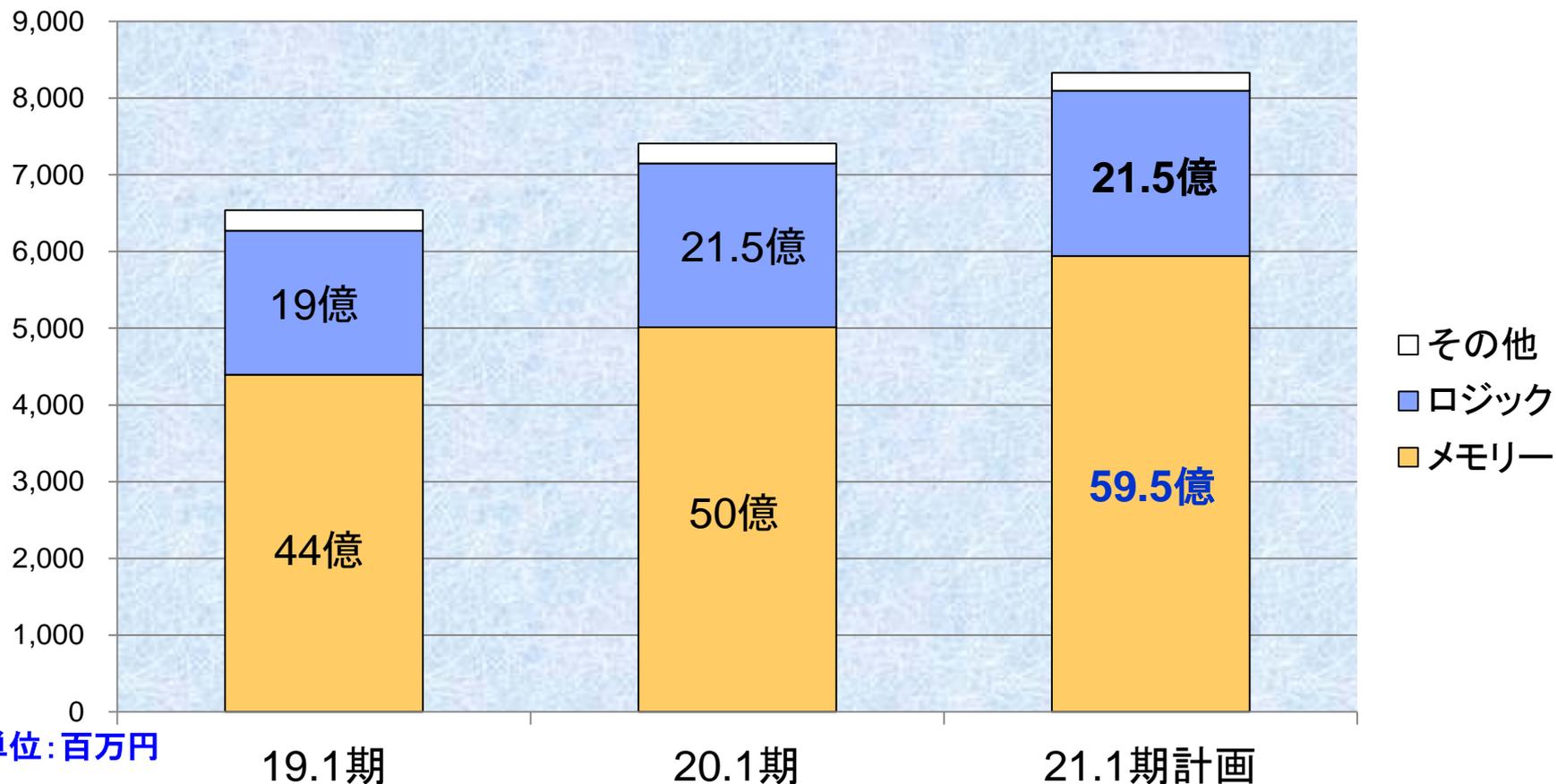
**! Si半導体材料は韓国向けを中心に成長**

## 2021年1月期売上分析(Si半導体)



**! High-k材料、Metal CVD材料の継続的成長を見込む**

## 2021年1月期売上分析(半導体向け先別)



※当社推定による概算値

**！メモリーは主に韓国向けの売上増による成長を図る**

## 3. 中期経営計画

# 中期経営計画の前提

1. 為替は107円/米ドルに設定
2. 予測される販売価格の変動は織り込み済み
3. 台湾子会社新工場、本社新棟建築費用による経費増
4. 設備投資計画及び償却費推移(概算額・百万円)

	21.1期	22.1期	23.1期	3期合計
投資総額	2,820	1,172	404	4,396
償却費総額	820	1,067	1,149	—

5. 増員計画      15名前後/毎期の増員
6. 持分法損益      3年ともに約1,250百万円/年を持分法利益として見込む

## 中期経営計画(数値目標)



	20.1期実績	21.1期計画	22.1期計画	23.1期計画
<b>売上高</b>	8,267	<b>9,150</b>	<b>10,050</b>	<b>10,800</b>
<b>営業利益</b>	2,326	<b>2,370</b>	<b>2,550</b>	<b>2,710</b>
<b>経常利益</b>	3,744	<b>3,770</b>	<b>3,980</b>	<b>4,140</b>
<b>当期純利益</b>	2,939	<b>2,940</b>	<b>3,080</b>	<b>3,200</b>

## 中期経営計画(財務目標)

	20.1期実績	21.1期計画	22.1期計画	23.1期計画
売上高	8,267	<b>9,150</b>	<b>10,050</b>	<b>10,800</b>
営業利益	2,326	<b>2,370</b>	<b>2,550</b>	<b>2,710</b>
売上高増加額	—	<b>882</b>	<b>900</b>	<b>750</b>
売上高 営業利益率	28.1%	<b>25.9%</b>	<b>25.4%</b>	<b>25.1%</b>

安定した売上増に加え、費用先行の中での利益確保も図る  
 営業利益率は**25%超を維持すること**を目標

## 今後の成長に向けての方策

### 外部環境

➤IoT・AIやSSD等の用途の拡大、5G通信導入による需要拡大  
→21.1期はユーザーの投資回復期・22.1期より成長局面へ

➤半導体微細化・高性能化により材料、プロセスは進化  
→次世代半導体に向けた新材料ニーズ・高性能化の需要は継続

### 当社の取り組み

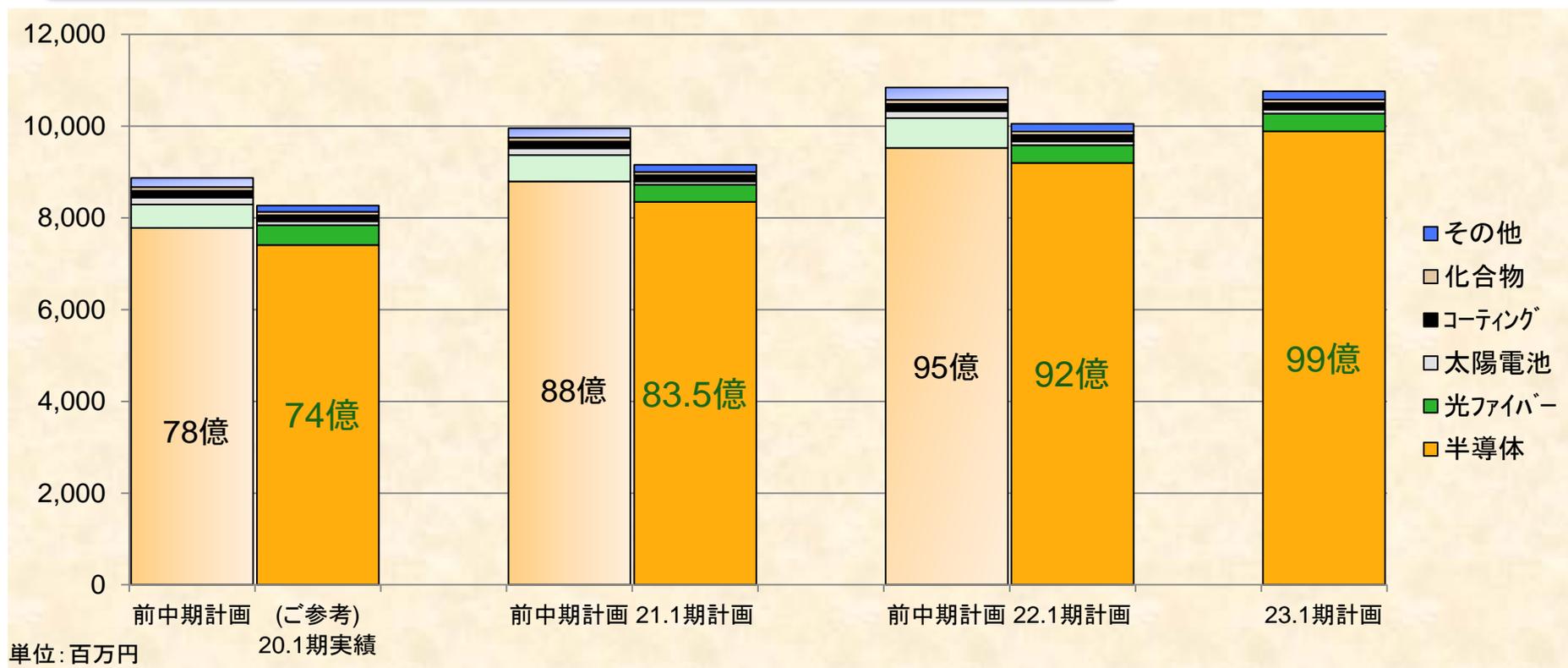
➤当社・台湾子会社における生産・開発能力向上を継続  
・台湾子会社新工場の早期稼働  
・出荷量の増大を受け、品質管理体制の強化のため新棟を建築

➤グループ内(台湾子会社・韓国関連会社)のシナジー強化  
・グループ全体の業績向上のため、当社生産体制も強化

## 中期経営計画重点戦略：製品戦略

半導体向け材料を中心に継続的な成長を図る

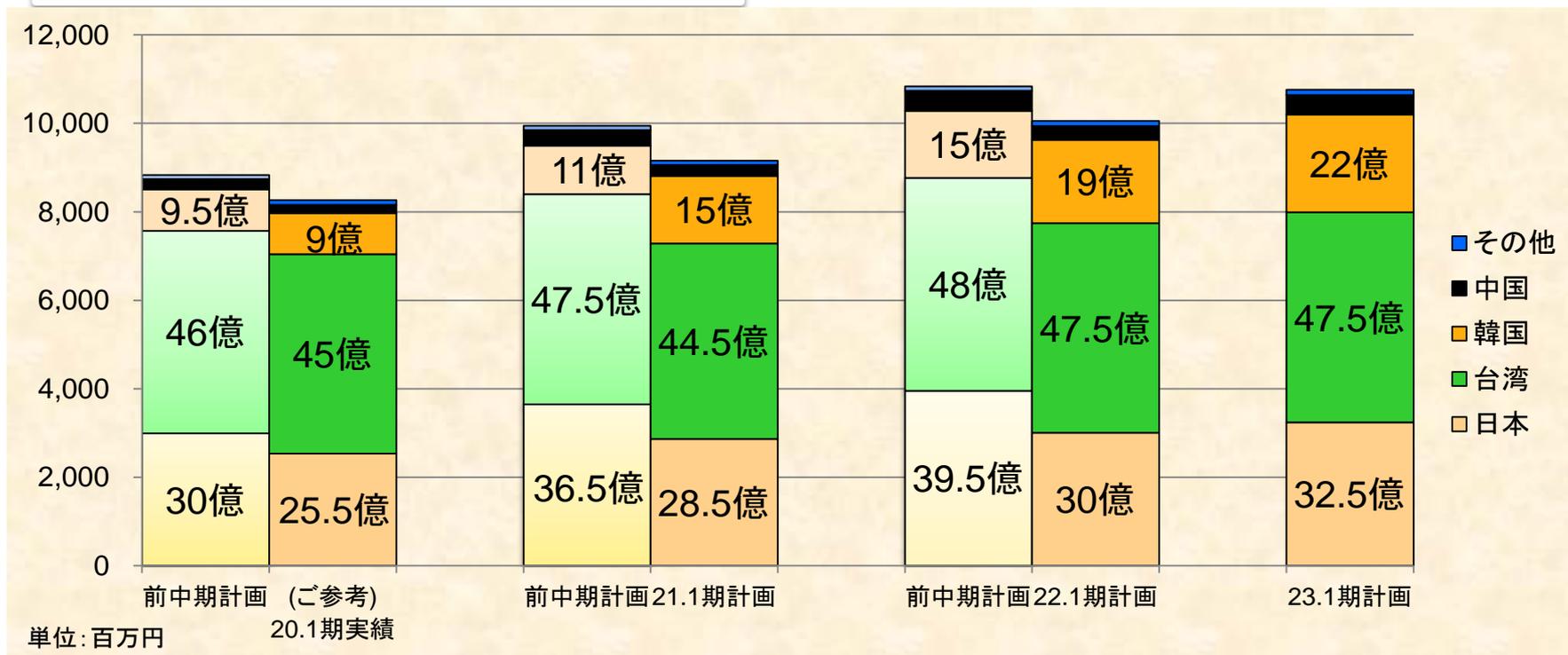
中期販売計画(製品用途別)※前中期計画との比較含む



## 中期経営計画重点戦略：地域戦略

メモリ投資の遅れによる日本・台湾向け売上の影響を  
韓国向け売上でカバー

### 中期販売計画(地域別)



この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。  
あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先 : [homepageinfo2@trichemical.com](mailto:homepageinfo2@trichemical.com)